

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	CAITAC LIVINGCOURT 計画	階数	地上22階
建設地	福岡市中央区警固1丁目185-1ほか6筆	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	470 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店・集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年3月 予定	評価の実施日	2023年9月16日
敷地面積	1,134 m ²	作成者	谷口和広
建築面積	739 m ²	確認日	
延床面積	7,114 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.5

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 3.0

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 公開空地を設け、みどり豊かで快適な歩行者空間を計画すると共に、周辺環境や住環境の向上に配慮した計画とした。	その他 特になし	
Q1 室内環境 ・複層ガラスの採用による遮熱等に配慮した。 ・内装材はF☆☆☆☆の建築材料を採用した。	Q2 サービス性能 ・共用部は可能な限り段差をなくし、バリアフリーに配慮した。	Q3 室外環境 (敷地内) ・敷地内にできる限りの緑地を設け、緑豊かな景観に配慮した。
LR1 エネルギー ・LED照明等の採用により設備システムの効率化に配慮した。	LR2 資源・マテリアル ・ノンフロン断熱材の採用により良好な室内環境に配慮した。	LR3 敷地外環境 ・戸数に対して十分な駐車台数を確保した。 ・屋外照明は周辺環境に配慮して、設置位置や高さに配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される